

令和 7 年度第 1 回
八千代市総合計画審議会
会議録

八千代市総合計画審議会

令和7年度 第1回 八千代市総合計画審議会

1 開催日時 令和7年10月17日（金） 午前10時00分から午前11時50分まで

2 開催会場 八千代市役所別館2階第1・第2会議室

3 出席者 ◇ 八千代市総合計画審議会委員

会 長	日本大学理工学部非常勤講師	藤 井 敬 宏
副会長	八千代商工会議所会頭	周 郷 寿 雄
委 員	公募委員	武 田 美 保
	公募委員	周 郷 綾
	日本大学理工学部教授	江 守 央
	八千代市自治会連合会会長	栗 根 秀 光
	八千代市スポーツ協会会長	上 代 修 二
	八千代市農業協同組合専務理事	櫻 井 良 夫
	八千代市子ども会育成連絡協議会会長	八 巻 憲 一
	八千代市社会福祉協議会事務局長	村 田 和 子
	八千代市芸術文化協会理事	鐘 水 知 子
	千葉県葛南地域振興事務所所長	相 葉 正 宏
	千葉銀行大和田支店支店長	三 浦 浩 幸
	株式会社ジェイコム千葉YY船橋習志野局局长	上 野 隆 史
	税理士	隅 田 容 代
欠席委員	公募委員	榊 原 伊 織
	東京成徳大学応用心理学部教授	出 雲 輝 彦
	秀明大学総合経営学部教授	森 中 祐 治
	八千代市医師会会長	櫻 川 浩
	八千代市長寿会連合会会長	渡 部 正 敏
	JAM日鉄SGワイヤ労働組合執行委員長	新行内 寛 之

◇ 事 務 局

企画部長	赤城 哲寛
同部次長	加瀬 充男
企画経営課主幹	岩田 淳
同課副主幹	古市 雅之
同課主査	沼尻 有美子
同課主査補	中川 修
同課主査補	鈴木 教央
同課主査補	津村 健太
同課主査補	加納 雄二

4 公開・非公開

公開

5 傍聴者（定員 5 名）

なし

6 議題

(1) 会長及び副会長の選出について

(2) 八千代市第 5 次総合計画前期実施計画事業の効果検証について

7 会議資料

- | | |
|------|--|
| 資料 1 | 八千代市総合計画審議会条例 |
| 資料 2 | 八千代市総合計画審議会委員名簿 |
| 資料 3 | 八千代市第 5 次総合計画の構成及び計画期間 |
| 資料 4 | 八千代市第 5 次総合計画前期実施計画〔令和 6 年度版〕
令和 6 年度事業効果検証結果報告書（案）修正内容について
（資料 4 別紙） 効果検証結果報告書（修正ページのみ） |
| 資料 5 | 令和 6 年度事業 効果検証結果に対する総合計画審議会委員からの
意見一覧 |
| 資料 6 | 令和 6 年度事業効果検証結果に対する総合計画審議会委員からの質問と
回答一覧 |
| 資料 7 | 第 5 次総合計画前期基本計画指標の達成状況一覧 |

I 事務局より

○事務局（加瀬次長）

本日はお忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。

ただいまの出席委員は、15 名でございます。八千代市総合計画審議会条例第 6 条第 2 項で規定する定足数に達しておりますので、これより議事に入らせていただきます。

なお、本日の会議は公開の会議です。会議録作成のため、録音を行いますのでご了承ください。

会議に先立ち、資料を確認させていただきます。

まず会議次第、席次表、資料 1 「八千代市総合計画審議会条例」、資料 2 「八千代市総合計画審議会委員名簿」、資料 3 「八千代市第 5 次総合計画の構成及び計画期間」、資料 4 「八千代市第 5 次総合計画前期実施計画〔令和 6 年度版〕 令和 6 年度事業効果検証結果報告書（案）修正内容について」及び別紙となります。資料 5 「令和 6 年度事業 効果検証結果に対する総合計画審議会委員からの意見一覧」、資料 6 「令和 6 年度事業効果検証結果に対する総合計画審議会委員からの質問と回答一覧」、資料 7 「第 5 次総合計画前期基本計画指標の達成状況一覧」でございます。

配布漏れなどございましたら、事務局までお声掛けください。

また、事前に送付した「八千代市第5次総合計画前期実施計画〔令和6年度版〕 令和6年度事業効果検証結果報告書（案）」について、本日お持ちでない委員がおりましたらお声がけいただきたいと思います。

それでは、ただいまから、令和7年度第1回八千代市総合計画審議会を開催いたします。
はじめに、服部市長よりご挨拶申し上げます。

○服部市長

【市長挨拶】

○事務局（加瀬次長）

次に、委員の皆様にご自己紹介をお願いしたいと存じます。お名前とお一言ずつご挨拶をいただければと思います。

○各委員

【委員自己紹介】

○事務局（加瀬次長）

ありがとうございました。

事務局職員につきましては、お手元の席次表にて紹介に代えさせていただきたいと思います。

Ⅱ 議事

【議題】

- (1) 会長及び副会長の選出について
- (2) 八千代市第5次総合計画前期実施計画事業の効果検証について

(1) 会長及び副会長の選出について

○事務局（加瀬次長）

それでは、議題に移らせていただきます。

議事の進行は、八千代市総合計画審議会条例第6条第1項の規定により会長が行うこととなっておりますが、本日は、委員改選後初めての審議会であり、会長が選出されておられませんので、選出までの間、企画部長の赤城が仮議長として議事を進行させていただきたいと存じますが、皆様よろしいでしょうか。

○委員一同

異議なし。

○事務局（加瀬次長）

ありがとうございます。

異議がないようですので企画部長の赤城が進行いたします。

○仮議長（赤城部長）

会長が選出されるまでの間、仮議長を務めさせていただきます。皆様ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

それでは、議題１，会長及び副会長の選出についてでございます。八千代市総合計画審議会条例第４条第１項の規定によりますと、会長及び副会長１名は、委員の互選により定めることとなっております。どなたか立候補，あるいはご推薦ございませんでしょうか。

○相葉委員

それでは、私のほうから推薦したいのですが、本審議会におきまして長らく委員を務めておられ、また八千代市のみならず、国，あるいは他の自治体でも多くの委員を歴任されております藤井委員に、この高いご見識と、豊富なご経験を生かして、会長の職を担っていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○仮議長（赤城部長）

ただいま藤井委員を推薦するご意見がございましたが、ほかにご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。

よろしいでしょうか。それではお諮りします。本審議会の会長を藤井委員に決定してよろしいでしょうか。

○委員一同

異議なし。

○仮議長（赤城部長）

異議なしということですので、本審議会の会長は藤井委員に決定いたします。これで仮議長の役目を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。

以後の進行は藤井会長，よろしくお願いいたします。

○藤井会長

ただいま会長職を仰せつかりました藤井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

早速ですが、会長が決まりましたので、副会長の選出を行いたいと思います。どなたか立候補あるいはご推薦はございますでしょうか。

それでは推薦がないようでございますので、私からお願いしたいのですが、前回の総合計画審議会から関わりを深くお持ちいただき、また、八千代市の商工会議所の会頭として見識の深い、周郷委員にお願いしたいと考えております。本審議会の副会長を周郷委員としてよろしいでしょうか。

○委員一同

異議なし。

○藤井会長

それでは周郷委員、よろしくお願いいたします。

これから審議を進めてまいります。初めに少しお話をさせていただきます。私は、以前から千葉県では八千代市だけでなく柏市や市川市、我孫子市、鎌ヶ谷市、市原市の総合計画審議会に関わっておりますが、八千代市の総合計画審議会では委員の発言が他の自治体と比較して少ないように感じております。委員がだいぶ変わられたので雰囲気も変わるのではないかと感じておりますが、事務局が提案した総合計画に対して委員が賛同するかという進め方であったのがこれまでの審議会でしたが、この審議会を経て、総合計画を委員一同で作ったという達成感が私には、なかなか持てなかったと率直に感じているところで。

そんな中、本年4月から、後期基本計画が動き出しました。次の計画は、4年後から始動することになりますが、おそらく今の委員で、次の総合計画に向けての方向性を検討する時期が参るかと思います。そのため、今後各委員の皆様の知見を頂かないと議論が前に進まないで、審議会の中で皆様が持つ様々な分野のご見識を積極的に発信していただきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

本日の議題は令和6年度の振り返りで、皆様に事前にご確認いただいた内容や現在進んでいる後期実施計画があります。また、各専門の分野の中で日頃感じているようなこと、あるいは将来に向けて感じていることなどについて、残った時間でお一人ずつお話を伺っていきますので、心づもりをお願いいたします。

(2) 八千代市第5次総合計画前期実施計画事業

それでは、会議次第に基づきまして次の議題に進みます。

八千代市第5次総合計画前期実施計画事業の効果検証についてということで、事務局よりご説明をお願いいたします。

○事務局（加納主査補）

それでは事務局よりご説明させていただきます。八千代市企画部企画経営課の加納と申します。

「議題2 八千代市第5次総合計画前期実施計画事業の効果検証について」ご説明させていただきます。恐れ入りますが、着座にて失礼いたします。

初めに、今回、委員の改正に伴い、初めてご就任いただいた方もいらっしゃいますので、総合計画の構成及び計画期間について改めてご説明させていただきます。

本日机上に配布させていただいた資料3の「八千代市第5次総合計画の構成及び計画期間」をご覧ください。

【資料3】の説明

次に、お手元に配布させていただきました資料4及び資料4別紙「八千代市第5次総合計画 前期実施計画〔令和6年度版〕令和6年度事業効果検証結果報告書（案）の修正内容について」をご覧ください。

【資料4及び資料4別紙】の説明

それでは、お手元の効果検証結果報告書（案）の1ページをまずご覧ください。

議題の八千代市第5次総合計画前期実施計画事業の効果検証につきましては、第5次総合計画の進行管理に基づき、総合計画を着実に推進するため、前期実施計画に掲げた各事業について、指標の達成状況、執行計画と実績の比較などから効果を分析し、今後の取組の改善を図るために実施するものであります。

今回は、八千代市第5次総合計画前期実施計画〔令和6年度版〕の計画事業のうち、令和6年度に事業が予定されていた89事業について、効果検証を行いました。

目標以上を達成、または概ね目標を達成した事業が46事業。

目標に向けて推移をしている事業が6事業。

目標達成が困難、またはやや困難な事業が36事業となっています。

なお、目標達成が困難、またはやや困難となった事業の主な理由といたしましては、用地交渉の難航や千葉県発注工事の遅れなど、取組を進めていく中で発生した課題や状況の変化が挙げられます。これらの事業につきましては、基本的に後期基本計画実施計画に位置付けて、引き続き取り組んでまいります。

また、八千代市第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略は、総合計画と総合戦略の目指す

方向性が共通していることから、第5次総合計画に包含するものとして一体的に策定しており、総合戦略における具体的な取組と重要業績評価指標（K P I）については、実施計画に位置付けて事業を推進していくこととしているため、実施計画に掲げた計画事業のうち、一部の事業は、95 ページから 97 ページにあるとおり、総合戦略における具体的な取組にもなっています。

このことから、実施計画事業の効果検証は、第二期総合戦略としての効果検証も兼ねるものとしています。

続きまして、資料5及び資料6について、ご説明させていただきます。

【資料5及び資料6】の説明

資料7につきましては、令和6年度末の第5次総合計画前期基本計画指標の達成状況を一覧として掲載しております。

この資料については、第5次総合計画前期基本計画終了時の施策の効果検証に重要となるものですが、今回は現段階の状況として、参考にご覧いただければと思います。

本日は、先ほど申し上げました、資料5の「令和6年度事業効果検証結果に対する総合計画審議会委員からの意見一覧」を、委員の皆様にご確認いただき、審議会からの意見として決定していただきたいと考えております。

また、計画事業に対しまして、今後に向けたご意見やご提案などがございましたら、ご発言いただければ幸いです。事務局において、内容を取りまとめ、担当部署へ情報共有の上、今後の取組の改善を図ってまいります。

事務局からの説明は以上でございます。

○藤井会長

ただいまご説明いただきましたように資料5、資料6を中心としてご意見を頂きたい、という形でございます。事前にご意見を頂いた内容でございますが、そちらにつきましてご自身でご質問された内容に対しきちんと回答されているかどうかといった観点で、また、ご質問をされてない方につきましては、そのほかの内容に対するご意見でも結構でございます。今回の検証につきまして、全般通してご質問やご意見などございましたら承りたいと思いますが、いかがでございましょうか。どの観点からでも結構でございます。

短時間でこの資料を全部読むのは非常に難しい範疇ではございますが、まず事前にご質問いただいた方は、その回答に対するご意見はないかといった観点を見ていただければと思います。あるいは全体通して、各数値に対する疑問点などでも結構ですが、いかがでございましょうか。

今回ご回答いただいた内容が、現在進められている後期基本計画に組み込まれているか

いないか、もしくは、内容的にそういう問題点が発生しないのかどうか、まず事務局、いかがでしょうか。

○事務局（岩田主幹）

今回の回答につきましては、令和6年度の実績に関してご質問いただき、それに対するお答えになるので、今後反映できるもののうち、令和7年度の実施計画に反映できていないものについては、ローリングの中で令和8年度以降の実施計画に反映できるようにしてまいりたいと考えております。

○藤井会長

そういった内容についてはまた審議会の中で、ピックアップしてご紹介いただけるとういうそういう理解でよろしいですか。

○事務局（岩田主幹）

はい。そのような理解で問題ございません。

○藤井会長

そのほか、委員の皆様からいかがでございますか。

では、江守委員どうぞ。

○江守委員

私は福祉有償運送の協議会の会長をしている関係もありまして、高齢者とか、それから障害をお持ちの方の日常の移動に少し携わらせていただいております。そこでタクシー券の配布や最近では高齢者の免許返納なども関係してきていると感じています。

要は、障害をお持ちの方を想定した公共交通を担保してこなかった、そのしわ寄せが福祉有償運送というところに乗りかかってきておりまして、NPOなどの介護施設を運営している事業所が、日常の障害者の運送を担っている状況です。私としては、公共交通として日常の障害者の運送を担保していくことが理想ではあるものの、なかなか変わってない状況もある中で、タクシー券は対応策の一つだと思っております。

近年では、利用者が増えてきているという報告があったかと思いますが、内情がどうなっているのかをきっちり整理しないと、今後、必要な公共交通や移動手段の確保について、次の一手が打てないのではないかと思います。

そのため、タクシー券を配布するというのはもちろん良いことですが、それだけでなく、タクシー券がどのように活用されたか、ちゃんと市民の方に伝わっているかどうかを重要と考えます。私の父は81歳でまだ車を運転しているのですが、私は運転を止めてほしいと伝えているものの一向に耳を傾けない状況があります。そういう方々に対し、タクシー券を

もらえる制度があり、移動手段も充実していることが伝わると良いなと考えておりますので、そういった視点で今後の計画に盛り込んでいただけると有り難いです。

○藤井会長

要望あるいは期待も含めてのご意見でございますが、まず現状はどうなっているか、あるいは、本審議会の枠組みは総合計画ですが、関連する計画がどう関与してくるのか、公共交通、あるいは福祉交通など、幅広く考えなければいけない分野ですが、今の質問と要望に關しまして事務局からはいかがでございますか。

○事務局（岩田主幹）

タクシー券につきましては、令和6年度から制度を見直し、距離要件の撤廃や、1回当たり使える枚数が増えたということで利用者が増えたと聞いております。公共交通との関連は、以前のこの審議会でも出ておりましたので、本日頂いたご意見は、公共交通を所管する都市整備部や福祉輸送を所管する健康福祉部に共有しながら、別途公共交通を議論する組織体もございますので、そちらとも連携を図り、総合計画に取り入れるべきものは取り入れてまいりたいと考えております。

○藤井会長

私も公共交通会議の委員として入っておりますので、少し補足させていただきます。昨年度の総合計画審議会におきましてもかなりの問題提起をさせていただきました。八千代市は従前からタクシー券の配布を実施しており、当初はバス停から500メートル以上離れた地域で、75歳以上の老老世帯もしくは独居老人の方を対象にタクシー券を配布し、使う際は1枚ずつ使用するという内容でした。しかし、特に北部の地区などにおきましては、1回あたり、片道で2,000円から3,000円かかることもあり、1回の使用で複数枚使用できるようにしてほしいという要望がありました。この要望に対しては、今事務局からご回答があったように複数枚使用が可能になったとのことで、これは良い点でございます。また、公共交通会議の中で良かった点としては、福祉関係の長寿支援課が入ったことです。このタクシー券については、公共交通と福祉交通の線引きが難しいというところがあって、どういう領域の中で相互に補完し合うかを、公共交通の中でも考えないといけないという位置付けになっています。

しかし、本来そういった位置付けであるにも関わらず、タクシー券の制度が公共交通会議を経ずに変わってしまいました。対象となる人を増やそうという、この想いは良いのですが、要支援、要介助、要介護の方たちが使えるようになった一方で、これまで500メートル以上離れた地域で、健康で外出のためにタクシーを使っていた人がタクシー券を使えなくなってしまうという問題が起きました。

これに対して昨年私のほうから、公共交通の枠組みの中で運用しているものが、福祉交通

と連携した結果、元々利用していた方が利用できなくなる仕組みは大きな問題だということを指摘させていただき、その制度設計を少しずつ緩和してくださいという要望を出させていただいて、少しずつ制度設計のほうを変えていくという方向にあることには間違いなかなというふうに思います。

そういった中で、江守委員からのご指摘のように、元気な方で運転している方にとってみると、自家用車以上にバリアフリーな乗り物はありません。そのためどうしても手放さない。そういった中で、公共交通あるいは福祉交通の支援があるという情報共有をすることというのは非常に大事で、市民が選択できる幅を広げてあげるといったことを丁寧に積み上げることが重要です。

そういった中で、タクシーチケットについては、要支援や要介護の方に枠を増やしたのと、複数枚使用ができることで、現在利用者数は少しずつ伸びてきているという実態があります。ただ、今江守委員が言われたように、それがどういう使われ方をしているのかという検証がまだできていないといったところで、外出機会をちゃんと得ていた方が、制度の変更によって外出できなくなってしまったとなると非常に大きな問題になりますので、そういった面では、その使われ方を担当部署のほうで確認をするようなプログラムを継続してやっていきたいと思いますという段階になっております。

また北部地区におきましても、計画の中にも入ってはおりますが、新たな移動手段を支援するような仕組みも併用で動いている中で公共交通と福祉、どうしても切っても切れない範疇^{ちゅう}でございますので、それを総合計画の位置付けの中でどのように見極めて動かすか、縦串ではなくて横串の部分をつながなければいけないということになりますので、そういった意見を逐次いただけると有り難いかなと思います。

現段階ではそれぐらいの話になりますので、よろしくお願いいたします。

そのほかいかがでしょうか。

○鑑水委員

私ももう車を手放すかどうかという年齢になってきておりますが、仮に車を手放して、自分の生活がどうなるかを想像したときに、タクシー券を数枚頂いても、とても今の生活を維持できるとは思えないです。事前の意見としても書かせていただきましたが、タクシー券がどういう人たちにどのように使われるかというデータは一度も目にしたことがないです。たまたまこういう席にいますので詳しい事情を耳にすることができますが、新聞も取っていない方であれば広報も入りません。そういった何も情報のない高齢者が多くいらっしゃいます。そのため、八千代市ではこういう制度がありますということを、今車を手放すかどうか迷っている人たちに届くような配慮が必要と考えます。

また、数枚のタクシー券を頂いたとしても、今までの生活を維持することは難しいと思います。私の考えでは、たくさんタクシー券を頂くより、公共交通の利便性が向上したほうが、生活が豊かになるのではないかなとも思いますので、どこにお金をかけることで、より良い生

活につながるかについて、今後検討していただけたら有り難いと思います。

○藤井会長

事務局から関連部署に対し、しっかり意見を伝えていただきたいと思います。

今、北部地域について言及がありましたので少し補足いたします。

今、国土交通省で「地域公共交通のリ・デザイン」というプログラムがあり、官官、官民あるいは民民で共同して、地域の方の支援事業を展開しようという動きがあります。そういった中で、補助事業としてデマンドタクシーのようなものを運行したり、それが地域の足に本当につながっているかといった検証を実施したりしているところがあります。

デマンドタクシーのような交通が地域のニーズに合っているかどうかも含めて、これからの検証になりますが、そういった検証を一つずつ積み上げていく中で、ただいまご指摘のように、情報がしっかりとフィードバックされないと意味がないので、事務局のほうで、市がどういう発信をしてどういう情報を必要な人に届けるかということを常に検討していただけると有り難いと思います。

○上代委員

この資料5の意見書に関して、道路関係のことを中心に五つほど意見を書かせていただきましたが、資料に列挙するのみではなくそれに対する反応がほしいのですがいかがでしょうか。

○藤井会長

事務局、ご回答可能でしょうか。

○事務局（岩田主幹）

頂いた意見につきましては、今日ここで頂いた意見と合わせて担当部署のほうに共有し、次回の総合計画審議会にてご回答させていただく想定で進めているところでございます。

○上代委員

私の友人と話しても、八千代市は車が混むから行きたくないという意見が非常に多いです。そういった事実を市の職員、市長も含めて考えていただいているのかということがすごく気になっています。市のほうでももう少し道路に関して、市の最大の重要事項であるとか、何か考えを持っていただきたいということです。本日具体的にお返事を頂きたいということではありませんが、意識として持っていただきたいということでお話させていただきました。

○藤井会長

これも少し補足させていただきます。冒頭のご挨拶の中で、都市計画道路のネットワークの作成に関わっているという話をしました。事務局が何もしていないという回答にはならないよう、補足させていただきます。

まず今のご指摘は、市の街区形成の骨格を作る道路ネットワークが脆弱^{ぜい}だというものでございます。道路ネットワークの整備に向けて、用地買収を含め非常に大きな課題を持っているところは間違いありません。その中で、全体計画として、目標年次をどれぐらいに立てて、どの区間を優先して整備していくか、年度計画の中で積み上げていくという作業を今行っています。

そういった中で、どの道路を優先的に整備するか、その必要性の高さといったものも、定量的に比較をして、それを変えた場合に、交通の渋滞^{じゅうたい}がどの区間がどれぐらい減少するのかという将来推計を全部重ね合わせて、その効果の検証といったものを今進めているところです。それがまとまれば報告されると思います。

また、八千代市の場合には、将来的に立地適正化計画といったような、コンパクトな都市を目指すという話も出てきており、そういったコンパクトな都市規模に合う道路ネットワークを考える必要が出てくるかと思います。そういった段階でまた、道路の再編のような考え方が出てくるかもしれませんが、現在はまず優先順位付けをやっていきますので、それとこの総合計画審議会の中で、事務局が各担当課から集約した情報を委員に提供していただきながら検討を進めたいと考えておりますので、今そういう段階にあるということだけご理解いただければと思います。

そのほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、もし今回ご質問などいただけなかった方におきまして、やはりこの点が気になるということがあれば、ぜひ事務局のほうに、情報を提供していただければと思いますので、よろしくお願いいたします。今日の議題といたしましては以上でございます。

これからの時間は、冒頭お話をさせていただいたとおり、皆様からご意見を頂きたいと思っております。

大変恐縮でございますが、ご挨拶の順番ということで、武田委員から順次時計回りにお話しいただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○武田委員

総合計画とは少しずれるかもしれませんが、市民として気になることや、八千代市内のお客様からよく話題に上ることでお話しさせていただきます。

私は高校も八千代だったので、八千代市自体がすごくなじみが深い地域です。住居を決めたきっかけは、新川大通りの桜並木で、ちょうど桜の時期に住居を探しており、すごく綺麗だったので、ここに住みたいと思ったことです。ただ、皆様もご存じかもしれませんが数年前、ちょうど開花前のつぼみが芽吹いている頃に、桜の木が大伐採されて、今年もあまり

大きな桜の木が見られず、とても残念でした。

伐採の時期を考えてほしかったのもありますが、桜並木を楽しみにしている市民の方もたくさんいらっしゃるのに、こういう対応しかできないのかと思い、他の地区の事例を調べてみたところ、目黒区でも老朽化した桜の木は切らなければいけないという記載がありました。八千代市の桜並木もそれならば仕方ないと思ったらどうも違うようで、大型のトラックとかが通るときに、枝が当たって危ないという理由で伐採されたそうです。それであればあんなに残酷な切り方じゃなくてもいいのにと思いました。

都内の八王子など、整った道路のイチョウ並木がすごく美しいと感じており、それによって困っている近隣の方もいらっしゃると思いますが、近隣で楽しみにされている方も多いと思いますので、伐採する時期や切り方ももう少し考えていただきたいというのを、知り合いの市議の方に話したこともありました。街並みをきれいにすることで、ここに住みたいと思われる方もいらっしゃるでしょうし、ここに住んでいて良かった、と思ってくださる方もいらっしゃると思います。私としては、この市に住んでいることが誇りだなと思える人でありたいと思っています。

○周郷（綾）委員

議長からの説明で一定程度納得はしたところですが、資料５の意見にもあるように、もう少しPRをしていただきたい、情報発信が足りないというのを思っていました。

今年仕事が忙しいときに、母が病院に薬をもらいに行くことがありましたが、私が忙しくて送迎ができなかったため、タクシー券を利用したらどうかと言ったのですが、結局母自身も内容を理解していませんでした。ただ、母は読むのがとても好きな人なので、広報紙など市の刊行物を隅々まで読んでいたので、見落とししたのか情報が入っていないのかはわかりませんが、結局、行きは主人が送っていき、帰りはバスがあったのでバスに乗って、バス停から家までおそらく30分以上かけて歩いて帰ってきました。

もしものときに使えるタクシー券なのに、その母世代がそういう情報を知らないのは、情報発信が不足していることが理由ではないかと感じました。

また、骨髄バンクの移植をすると市から助成金がもらえる制度も知らず、市議のInstagramの投稿で知りました。少し市からの情報発信が薄いと感じました。

ぜひ世代によって、高齢の方向けには広報、若い方向けにはInstagramやラインなどのSNSで発信するなど、もう少し良い方法をとっていただけたらいいなと思いました。

○江守委員

まずは専門の分野の立場から意見させていただきます。先ほど交通の話もしましたが、もう一つのICT推進という視点でお話させていただくと、国土交通省が「^プ^ラ^トPLATEAU」という仕組みを用いて、国土の全体を三次元空間のモデル化しようと取組を始めています。

八千代市は、他の自治体と比較して三次元モデル化は進んでいるほうですが、道路につい

でも、今オープンデータ化を進めようということで取組が進められています。

都内の自治体は、そういった空間情報を取り扱うような専門の部署、八千代市でいうと情報政策課かと思いますが、それを拡大してＩＣＴ推進専門の部署を作り、より充実したＩＣＴの推進を進めています。次に来る新しい情報化の時代に向けた準備を既に進めている状況であり、八千代市も、そういった次の時代への準備という意味で力を入れても良いのではないかと考えております。

これが将来的には、例えば人手不足によりバス路線の減少が懸念されているところに対して自動運転化を推進していく際に、この下準備となるオープンデータがないため自動運転化が推進できないといった状況を防ぐために非常に重要になると考えております。この辺りが、次の時代に先手を取れるか、後手に回るかという岐路になると思っています。

それから市民としても発言させていただくと、私は八千代市出身で、一旦東京へ住みましたが、八千代に戻ってきて、八千代市は都市と自然が融合しているとても良い場所だと感じております。しかし、どうも八千代市民は控え目で、あまり八千代自慢をしない人が結構多いのですが、八千代市は本当に自慢できる地域だと思っています。

先ほどもありましたけれども、誇れるような地域として、何か自分たちの魅力を発信するのが下手というところもあると思っていますので、ぜひ自信を持って他にアピールできるようなものを示していただき、特に子供世代に自信を持たせて、八千代市出身者として社会に出ていってもらえれば良いなと思っています。市内の現役高校生が銀メダルを取るような地域ですから、自信を持っていいかなと思っています。

○周郷（寿雄）委員

私からは建築士として一言、今後のことについてお話させていただきます。

新庁舎の建設が始まりまして、今後新庁舎が出来上がることにより、老朽化した公共施設の集約や活用を検討するといった内容を総計審の中に入れていただいても良いかと思っています。

また、商工会議所が年に一回、ふるさと親子まつりを新川で開催し、花火などをやらせていただいております。新川に関しては、今後護岸工事が入るという話を聞いておりますが、新川は市民が触れられるすばらしい川だと思うのでこの河川の造成についても考えていただきたいです。八千代市は観光というと新川とバラと千本桜ぐらいしかないと思いますが、やはり観光にも力を入れたいと思いますので、その点をもう一度考えていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

○栗根委員

防犯灯の設置に関して、17の自治会から要望があり合計47灯設置したという記載がありました。自治会連合会として、防犯灯の設置については様々な要望があります。今月末から来月にかけて、市政懇談会が市内7地区であるのですが、そこでも防犯灯に関して設置を

お願いするという要望が出ております。自治会として要望を出せば、補助金をもらえて防犯灯を設置できるということなのですが、大きい自治会であれば可能でも、小さい自治会は設置する金銭的余裕もないので、全自治会が防犯灯を設置できるような形にもっていったらいいという要望は、市政懇談会でも出ると思います。

また、八千代市の自治会は全部で 254 あり、10 年前は、60% ぐらいの加入率でしたが、今は 49% まで落ち込んでおります。八千代市自治会連合会としても、加入者数増加のための方策を検討しております。自治会から市に対して要望しても、その回答がなかなか出てこないケースが多いので、この度の市政懇談会では明確な回答をもらいたいと思っております。

また、バスの関係については、一回 100 円で乗れるコミュニティバスのようなものを運行してほしいという要望も出しております。それらの回答が市政懇談会でどのように出てくるか、期待しております。

○上代委員

スポーツ協会の会長なので、今度はスポーツの関係でお話をさせていただきたいと思います。

八千代市は健康都市宣言を出しておりますが、その内容を読ませてもらうと、スポーツの字もありません。健康であるためにスポーツは必要だと思いますので、ここに少しスポーツの文字を入れてほしいと思ったところです。

それから生涯スポーツや、自分の趣味を持つこと、様々な文化に触れることにより、友達ができ、健康寿命が伸びると私は思っておりますので、そういうところにも力を入れてほしいと思っています。

また、ニューリバーロードレースの実行委員長も引き受けておりますが、改めて走路を全部確認しますと、かなり通路が狭く、雑草が多く生えている状況であり、草刈をするだけでどれだけのお金がかかるだろうかと思います。また、走路もかなり傷んでいます。走路については八千代市ではなくて千葉県の管轄だと聞いておりますが、今年の参加予定者は 4,000 人を超え、市外からも 1,500 人ほどの参加を予定しておりますので、一つの大きな大会にしていきたいと改めて思っております。そういった中で草刈や走路のことについては、今年の大会には間に合わないものの、もう少し県に要望しても良いのではないかと考えております。

また、そもそもこの周辺を誰かに使ってもらえれば、草刈しないで整備できるのではないのでしょうか。その空き地を使っていただく人たちがいれば、草刈はその事業者によってもらうなどのアイデアも必要だと思います。

それからもう一つ言わせてもらうと、私は東葉高速鉄道の開業にずっと関わってまいりました。沿線にどうやって乗降客をたくさん乗せるか、それが鉄道会社の使命なので、もっと高架下をどのように活用して人を集めるか、またその駅の周辺にどのようなものを作っ

て乗降客を増やすかなどの自助努力を求めていただきたいと思います。

様々なことを言いましたけども、八千代市に75年も住んでおり、人口が二、三万人の頃からずっと八千代市を見ているので、よろしくお願いいたします。

○隅田委員

資料6 質問2の「こども計画策定事業について、予算を超えているので、気になりました。予算を超えた理由は何ですか？」は私が提出した疑問点です。議題の中でもう一回言うほどの話でもないのですが、少し触れさせていただきます。

回答が、こども基本法第11条において、関係者の意見を聞いて計画を策定してくださいとあることから、当初予定していた意見聴取の対象範囲を拡充し、聴取内容の充実も図ったため、当初予算を超えたという趣旨なのですが、計画を策定する段階で、もう少し予算を詰めたら良かったのではないかと、思っております。

これは行政によくある話かと推測しますが、他で予算が余ったからこちらに予算を持ってきたのではないかとすることを想起させるような回答なので、もう少しお金の使い方について、しっかり考えていただきたいと思います。

○上野委員

他市の取組については存じ上げないものの、八千代市においてこのような取組を公開されているのは素晴らしいことだと感じました。こういった形で市の方々が意見を聞こうというスタンスでいることはとても良いと思いますので、今後も続けていていただきたいと思っております。

様々なイベントに参加しておりますが、先日のふるさと親子まつりの花火大会において、当日は暑かったのですが、備蓄されているお水を配られており、すごく良い取組をされているのを感じました。今回、災害の備蓄品を購入したという内容も出ておりますが、もっと良い取組をどんどんアピールしていただければと思いますし、ジェイコムの場合は放送を活用して市が市民へアピールするためのご協力ができると考えられますので、引き続きよろしくお願いいたします。

○三浦委員

本日はありがとうございます。

私は金融機関の見地から、まずは国の進めておりますキャッシュレス化についてお話をさせていただきます。DXの一環としてスマート自治体推進においてキャッシュレス化というのは重要なテーマでございますし、行政サービスの効率化と住民の方々の利便性の向上を両立させる上で、重要な要素だと思います。行政がキャッシュレス化を進めていく上では、弊行のような地域金融機関と連携することで弊行が重要な役割を果たせると思っておりますので、ぜひ八千代市での推進においては、弊行が下支えできるような形で、今後も推進に

携わっていききたいなと思っております

今回は、別の見地での意見も言えるような形で参加させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○相葉委員

葛南地域の事務所で所管するのは、浦安、市川、船橋、習志野、そしてこの八千代市でございます。千葉県内におきましても人口的にも、都市機能においてもほとんど東京に近いような地域でございます。

そうした中で八千代市以外の市は東京湾岸の京葉地区ということになりますが、八千代市は、印旛沼にも近く、非常に自然環境が豊かで、私どもで狩猟免許などの業務も行っていますが、今度狩猟が解禁になりますと、唯一八千代市には狩猟の区域というのがあります。一方で先ほども皆様からもありましたが、東葉高速沿線も含め、住宅の開発が今も続いて人口もまだ伸びているということで、自然と都市の住宅環境が、共存している非常に魅力的な都市だと思っております。

しかし、日本全体では人口が減少している中で、この地域はまだ自然減はあっても、社会増によって人口が増加しているところだと思いますが、これから先を考えると、八千代市に限らず、明らかに人口は減っていくしかないという状況です。

そういった状況の中でその行政の課題の一番大きなものは、やはり少子化対策だと考えます。少子化対策によって少子化を止められるわけではないですが、いかに少子化を緩やかに、その地域の機能を維持しながら、この八千代市に住んでいる方が幸せに暮らしながら、この先、10年、20年、30年と暮らしていけるのかという視点だと思います。そうした視点で結婚支援や子育て支援など、様々な少子化対策の施策が入っているかと思います。

○鎌水委員

芸術の方面から一言申し上げます。今日ご案内しました、八千代市の文化祭と美術展について、これが開催される市民ギャラリーに足を運んだことのある方はいらっしゃるでしょうか。

車がない人が広域公園内の市民ギャラリーを利用する手段としては、東葉高速鉄道の村上駅から歩くことが一番近いと思いますが、村上駅から広域公園までの案内看板についてお話をさせていただきます。昨年の総計審でも、村上駅から広域公園までの案内看板をつけてほしいというお話をさせていただきましたが、まだ実現していないため、再度要望させていただきたいです。東葉高速鉄道の厚意で、駅には案内看板がついているので、駅から市民ギャラリーには行けるのですが、帰り道は、ギャラリーから出た大きな十字路のところに案内看板がないため自分がどこから来たかわからなくなります。細い路地を通るため、どの通りに入るかもわかりづらいことから、文化・スポーツ課に対して、「村上駅行き」という看板を立てていただくよう要望しておりますが、まだ看板が付きません。

こういった市民ギャラリーへの出品や、友人の作品を見に来るためには、歩いてでも来ることができるということをPRしないと、中々人が集まらないと思います。

先ほど、八千代の自慢がないという発言がありましたが、この美術館は、様々な方の知恵を頂いて、長い間議論を重ねて建設した素晴らしい美術館です。千葉市にお住まいの方からも、一度このギャラリーを利用したら次回以降もずっとここを利用したいという意見も出ております。

市民ギャラリー周辺は、桜も綺麗で、中央図書館とも隣接しているので、人の交流が多い場所です。川沿いをジョギングしている人がお茶を飲みに来たついでに展覧会に足を運んでくださるほか、図書館へ勉強しに来た学生さんが休憩で展覧会に足を運んでくださるなど、多くの方に足を運んでいただいている場所です。人の交流が広がっていけば、八千代市民だけでなく、市外からも、素晴らしい図書館、美術館を利用していただけると思うので、市民ギャラリーは歩いてでも来られるエリアだということPRしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○村田委員

本日はこのような、皆様の意見を聞く機会を作っていただき、大変参考になりました。

私としては今まで委員をさせていただいた中で、今日も出ました交通手段の問題に関連して、大和田駅にはバスがないというお話も聞き、今まで意見を言わせていただいております。また最近では、公共交通会議に社会福祉協議会のメンバーを参加させていただき、一部現場の声を拾うところには、社会福祉協議会の支会の福祉委員を入れてくださったほか、大和田の開発につきましても、大和田地区の支会にも声をかけていただくなど、ご配慮いただいていることにつき、この場で感謝申し上げます。

また先ほどから、行政の取組や支援が市民に届いていないという話がありましたが、例えばそのタクシー券の仕様が変わったことも、高齢者向けに介護保険証が届くときや、あるいは健康診断の案内など、行政から市民に届く郵便物に案内を同封していただいたら良いのではないかと思います。今回の市民便利帳は全戸配布ということで、私も自宅のポストに入っていて、大変驚きました。似たような形で、行政の情報を市民に届ける手だては何かあるのではないかと考えております。市の公式LINEも登録しており、毎月1日と15日の8時半には必ずラインが届きます。八千代市にも情報共有のための手だてが多くあると思いますし、交通の問題は社会福祉協議会で懇談会を開いても、必ず出る話題であります。健康に関することも非常に重要なことだと思うので、市民への情報共有については何か工夫をしていただけたらと思います。

○八巻委員

私のほうからは、交通安全通学路の安全についてお話をさせていただきたいと思います。

先週、ちょうどこの周辺の道路で、小学生がトラックとの接触で亡くなる事故がありまし

た。また、数年前には八街市で交通事故があつて、国と県と市が通学路の安全点検を実施し、国からはその対策がもう 99%完了したという報告がなされておりますが、八千代市において通学路の安全対策が、本当になされているのか疑問に思うことがあります。

八街市の事故を受けて、歩道やガードレールができた場所がありますが、やはり子供と車の事故というのは絶えることなく、どこかで起きている状況があります。

様々なお話の中で、状況も日々変わると思うので、市としてそこは毎年きっちり安全点検をしていただきたいです。

また、自転車が走行しやすいように、自転車の走行帯に青いラインを引いていただいておりますが、青いラインを自転車が走っていたら車がすれ違えなくなるような狭い道路にラインを引いているのも、本当にそれが安全対策なのかなというところは感じるころではあります。

別件ではございますが、学校では毎月教材費の集金があります。この教材費は、今でも毎月違う金額を学年ごとに集金袋で手集金するというやり取りがいまだに続いています。G I G Aスクール構想により、学校にコンピューターが導入されておりますが、いまだに毎月、月末に生徒全員が、何千何百円という金額を現金で持っていき、それを担任の先生が朝に確認し、入っていなかったら戻すという作業をして、それを教頭先生や教務の先生が全て集めて、教材の業者に支払うか、銀行に振り込みに行くという作業があります。当然、小銭が多くあるので、銀行の入金手数料を取られるという状況です。学校の先生たちも、現金を扱うことに不安を覚えています。

保護者の中にも、校外学習などがある際は高額なお金を子供に持っていかなければいけない。1年生でも何千円という金額を朝持たせて、登校させているという点に不安を感じている方がいらっしゃいます。

P T Aとしても、ぜひキャッシュレス化の検討をしていただきたいという話が出ておりますが、一方で決済手数料やシステム管理料を保護者が負担するのはどうなのかという議論もあり、議論が進みません。学校としても保護者にそういった手数料やシステム管理料を負担してもらう形でキャッシュレス化しましょうと言いつらいということのようです。

市としてこれだけD Xや、G I G Aスクール構想を推進している中で、学校教育の中でアナログな部分がかなり残っているようなので、その辺も併せて検討いただければと思います。

○櫻井委員

皆様からは生活の問題や健康の問題に関するご意見が出てまいりましたが、私のほうからは、農業に関して皆様にご相談できればと思っております。

まず、最近大きな問題となっている米の問題についてですが、米の価格が高すぎると、消費者が食べなくなるので非常に困ります。3年ぐらい前までは、米が一俵 60 キログラムで 1 万 2,000 円程度であったのが、去年になりますと 1 万 8,000 円ほどに上がってきまして、

今年に入るともう3万5,000円ぐらいまでいったところもあります。

また、今最も困っているのが、農業の後継者問題です。例えば、梨農家も今から40年ほど前では100件ほどありましたが、今は20件から30件ほどになりました。八千代市の特産であった春夏ニンジンの農家も以前は40件から50件ほどあったものが今、10件ほどになっております。ねぎ農家も同様です。特ににんじん農家は朝早く、1時か2時に起きて、収穫をして洗って出荷するという流れなので、労働内容も厳しく、若い人が続かず辞めてしまうということが問題視されております。

その中で、農家の方が土地を余らせていて、畑が荒れたままの状態になっている場所が非常に多いので、そういった土地を体験農園や市民農園という形で活用できたら良いのではないかと考えております。私の記憶の中では15年から20年ほど前にはそういった貸農園があったかと思いますが、そういった農園が減ってしまっているということで、今後もう少し空いた土地を活用していけたら良いと思います。

改めて、皆様に問題視していただきたいのは、先ほども言いましたけど、農業後継者がいないということです。対策として現在、農協やJAグループの中で、あまり人は集まらないものの、スマホアプリを活用した1日バイトの募集などを実施しているほか、市の経済環境部と一緒に、新しく農業を始める方の支援をしており、年間に2件か3件ほど新規就農者がいます。ただ、その新規就農者が農業を始めるためには、一番初めの資金が1,000万円ぐらいかかりますので、もう少し負担のかからないような形での支援を実施しております。

今回提起したいのは、何度も申し上げますが、後継者不足を八千代市のテーマにしていただければなというふうに思います。

○藤井会長

どうもありがとうございます。全員の皆様からお話を伺いました。

それぞれ専門にされている分野が違う中で、その問題点として、長期に渡るものや国の政策と関連するようなものも挙げていただきました。次の総合計画に向けて、情報をどうつないでいくかというキーワードもあれば、今こういった困りごとがある、というようなご意見をいただきました。こういったご意見を、総合計画の事務局が関係部署と連携し、次の総合計画へつないでいていただきたいと思います。

また様々なテーマがありますが、総合計画の8年間という時間軸の中で物事を決めなければならないので、ご意見の全てがこの総合計画に載ってくるというわけではなくて、時間軸に合わせて、構想的なところあるいは基本計画に相当するものと毎年着実に推進する実施計画レベルで動かせるものとを段階的に位置付けます。後期実施計画はまだ始まったばかりですので、実施計画の状況を見ていただきながら、今頂いたようなご意見を次の総合計画にどのように反映していくか、ぜひまた幅広くご意見いただけると有り難いと思います。

少し私のほうから、計画の位置付けについてお話させていただきましたが、今日の資料3の中で、第5次総合計画の構成及び計画期間が三角形の絵で出ております。どの自治体も総合計画は「基本構想」「基本計画」「実施計画」という3つの段階で構成されています。ただ、計画を遂行する年数が自治体の規模や取り組む姿勢、あるいは取り組むべき政策として何を柱にするかによって変わってきます。八千代市の総合計画は、総合計画が全体で8年、それを4年ごとに前期と後期で分け、実施計画は3年ごとに毎年見直していくというスタンスを取っています。この8年というのが、他の自治体と比較すると極めて短いです。それがこの八千代市の総合計画の特徴です。

周辺の自治体の事例でいくと、市川市では今新しい構想を作っている最中ですが、柱にする政策としてカーボンニュートラルといった環境政策を展開するにあたり、短い期間では議論できないということで、25年という構想を立てて、9年、8年、8年という基本計画を作っています。その中で実施計画を回していく。これはさすがに長すぎるぐらい長いので、議論をまとめる作業が非常に大変ではあります。他の自治体は、この基本構想が12年というところが多いです。基本構想が12年で、それを前期後期で6年に分け、6年に分けたところを実施計画で3年間のローリングで組んでいくといったような建付けです。

なぜこの話をするかという、八千代市の前期基本計画と後期基本計画は4年間であるのに対し、実施計画は3年となっており、実施計画の位置付けと基本計画の時間軸がものすごく近く、短期計画の実施においては、とてもやりやすい一方で、様々な課題に対して長期の視点を持って整備をしていこうとするとなかなか前に進まないということになります。どちらかという、八千代市はフォアキャスト型といいますか、今ある問題をどういう形で改善していきながら、地域の総合的な暮らし、働く場、憩いの場、交通も含めた都市活動、生産活動を踏まえてまちを良くしていこうとアプローチをしておりますが、先ほど例示した市川市のように、長期の目標の2050年に向けて八千代市はどのようなアプローチをすべきか考える必要があります。こういったフォアキャスト型の考えができるのは、八千代市が、今はまだ人口が伸びていて、後に緩やかに落ちていく推計となっているからであります。

そうすると、将来的には、政策の年限をもう少し長くとした形の中で、バックキャスト型の姿を描いてほしいと思っております。

そういった大きな構想の中で、具体的な整備計画や基本計画といったものを位置付けていくような流れも、次の総合計画ではぜひ方針として検討してほしいという思いを常に持ち続けております。

これは自治体の考え方ですので、4年のローリングのほうが、市としても市長の任期と合うためやりやすいといったこともあるかもしれませんが、やはりベクトルをどこに持っていくかという基本構想の軸を考える上で、八千代市の姿をどういう方向に持っていくかという思いを、皆様で議論して市政として位置付けていく際には、基本構想の期間ももう少し長くてもいいかなと思っております。そうすると、人口減少の動きなどの全体像を捉え、今ある姿だけに着目しないで、少し長いタームで議論ができると思います。これはあくまでも

私の個人の考え方ですが、事務局のほうでも少し心に留めていただければと思っております。

そういった面では、今日は幅広く皆様にご意見を頂きました。これからもいろんなご意見を頂きながら前に進めていきたいという思いがございますので、事務局からすると耳の痛いご意見もございましたが、それはしっかり受けとめていただいて、特に情報の伝達を含め市民への共有がうまくいっていないといったところがございますので、その辺りに関しましては、ぜひ、他部署との連携をつないでいただければと思います。

それでは、私がお預かりしたところプラスアルファで皆様のご意見を頂くところまで終わりましたので、この後は、今後の進め方を含めて事務局のほうから連絡事項などをお願いできればと思います。

○事務局（鈴木主査補）

事務局からは、次回の会議について案内させていただきます。時期は1月下旬から2月上旬を予定しています。日程調整した上で、また文書でご案内させていただきます。

なお、本日頂いたご意見や議事録につきましては取りまとめた上で、皆様にお返しさせていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。

事務局からは以上であります。

○藤井会長

本日はどうもありがとうございました。